

選択肢広げ保留児童解消へ

横浜市会議員 伏見ゆきえ



伏見ゆきえ

2015年に横浜市会議員初当選。現在3期目。

連絡事務所／〒244-0816 戸塚区上倉田町
390-1表ビル1-B ☎045・443・5757 / ☎045・
443・5671 / Facebookで日々の活動更新中！

横浜市では依然として希望する保育所に入れない保留児童の問題があります。「雇用均等法基本調査（令和3年度）」によると、育児休業制度がある事業所の割合は従業員規模30人以上で95%と

いう結果が出ています。企業努力により育児休業制度の充実が図られる一方で、保育所に入所を希望しながら入所できない児童の半数は、1歳児に集中しています。

「子育てしたいまち」

を目標に横浜市において、1歳児など保護者が希望するタイミングで預けられる環境づくりが必要不可欠だと考えます。

そのため私は、育児休暇明けの保護者が保育園を選ぶ際の環境整備の充実化を提案します。

たとえばネットで気軽に多くの情報が得られれば、希望する園の選択肢の幅が広がります。0歳児や3歳から5歳児での定員割れを起こして

いる園への対策につながることも期待できます。

市では保育所選びのためのホームページを作成し、今夏に運用が開始される予定です。多くの保護者は「自宅の近く」であったり、「通勤に便利な立地」で選びがちです。しかし保育内容や自然豊かな保育環境、駐車場完備など子どもの成長を育む点からの園選びも大事なポイントです。園独自の教育方針やアクセスの悪さを解消している点など、各園の魅力がホームページに盛り込まれることで、選択肢の幅が広がり、保留児童の減少も図られるのではないかでしょうか。